

凡 例

本書は、原則として平成14年度（2002年度）または平成15年（2003年）中の数値を収録しましたが、さらに利用者の便宜を図り過去4年間の累年比較をしました。

しかし、資料の関係により累年比較できないこともあります。

資料は官公庁、庁内各部課並びに民間諸団体などの報告によるもの、または本市において直接調査収集したものです。

資料の出所名は各表の下部に掲げ、報告書などによるものは（ ）内に付記しています。

統計表のほとんどは吹田市を区域としたものですが、例外的なものは脚注しています。

統計表中、説明を要する箇所は脚注し、数値の単位については、原則として各表中に注記しましたが、一見して明らかなものは省略しています。

調査資料の時点・期間については、原則として各表の上部右端に注記していますが、表中の年次、年度、年月日は次のとおりです。

- 年 次……………暦年（1月から12月）
- 年 度……………会計年度（4月から翌年3月）
- 年 月 日……………記載期日を現在とする

数字の単位未満は、四捨五入を原則としています。したがって、総数とその内訳の合計とは一致しないことがあります。

統計表中、符号の用法は次のとおりです。

- 「－」……………該当数字のないもの
- 「…」……………不明のもの
- 「0」……………数量が記載単位に満たないもの
- 「X」……………秘密保持上公表をさし控えるもの
- 「△」……………負の数

本書に収録した資料について、さらに詳細な数字が必要なとき、あるいは疑義のある場合は、各統計表脚注にある資料収集機関、または本市企画部政策推進室に問い合わせ下さい。